



しながわがくげい



令和5年度 3月号

品川学藝幼稚園

園長 関 幸 治

【ハーモニカ演奏会】

2月14日（水）に、寺澤ひろみ先生をお招きしてハーモニカ演奏会を開きました。当日は、子どもたちだけではなく多くの保護者の皆様にもお越しいただきありがとうございました。

寺澤先生にお目にかかった際に、品川学藝幼稚園では、ハーモニカを練習していますとお話したところ、ぜひとも子どもたちの前で演奏したいということで、今回の実現に至りました。当日は、いろいろな種類のハーモニカをご持参いただき、実際に音を聴かせてもらいました。重く太いハーモニカ、細く長いハーモニカ、とても小さいハーモニカなど、子どもたちが持っているものと全く異なるもので、子どもたちも興味津々でした。かえるのうたを先生と一緒に演奏したり、パプリカの演奏で子どもたちが踊ったりと楽しい時間を過ごすことができました。子どもたちの音楽的な感覚をほめていただきました。

【ひな人形】

今年も先生方とひな人形を飾りました。1年に一回なので、台の組み立てから四苦八苦、写真を見ながら「あだこうだ。」と言いながら、でも楽しんで飾ることができました。遊戯室のひな人形を見た子どもたちからは「きれいだね。」「大きいね。」「うちにもあるよ。」などいろいろな感想が飛び出しました。すみれ組、ばら組、まつ組もそれぞれが、自分のお雛様を作成しました。保育中には『おひな様のうた』もよく聞こえます。もう春はすぐそこまで来ているなと感じます。

子どもたちの健やかな成長を願う毎日です。あと一カ月で新しい環境に進む子どもたち、どうぞ応援をよろしくお願いいたします。



緊張と笑顔・・・

品川学藝高等学校の卒業公演にばら組の子どもたちが出演しました。幼児教育コースのお姉さんたちと一緒に舞台に立ちました。お姉さんたちが作ってくれた舞台衣装を合わせたり、ダンスを覚えたりと3学期になってから準備を進めてきました。2月1日（木）の家庭教育学級では、ばら組の保護者の方に観覧していただきました。翌日のゲネプロ（通し稽古）では、高校の在校生にも見てもらいました。高校の校長先生から、ばら組の子どもたちの演技を見た高校生たちが、一斉に「かわいい・・・」と声が上がったと教えてくれました。一生懸命に踊ってくれたばら組の子どもたち、たくさんの拍手をもらい、とても満足した笑顔でした。年長への進級に向けてよいきっかけとなりました。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

来年度をもって高校の幼児教育コースはなくなりますが、卒業公演に何らかの形で協力できるように働きかけていきたいと考えています。



指導のねらい

すみれ組

○大きくなる喜びと進級に対する期待をもって生活する。

ばら組

○自分でできることを自分で行き、進級することへの期待をもつ。

まつ組

○見通しをもって友達と遊びや生活を進める楽しさや充実感を味わい、就学に期待をもつ。



講師による指導（3月）

器楽指導

渡辺 正明先生 ばら組

英語指導

ジェマ ヘムス先生 ばら組 まつ組

体育指導

櫻井 由香先生 すみれ組



○お知らせ

事務局から

令和6年（2024年）4月より登園や降園、預かり保育等々、実施方法が大きく変わります。そのため、3月より、変わることをルクミーで配信してまいります。4月より混乱が生じないように心がけて進めていきますので、ご協力よろしくお願いいたします。

また、預かり保育で使用しているチケットは4月からは使用できなくなりますのでご注意ください。

しながわがくげい 二十四節気・七十二候…弥生(やよい)…

二十四節気は半月ごとの季節の変化を示しています。これを約5日おきに分けて気象の動きや動植物の変化を知らせるのが七十二候(しちじゅうにこう)といわれます。

啓蟄(5日)…冬ごもいから目覚めた虫が顔を出す頃です。日差しも春めいてきます。

蟄虫啓戸(すごもいのむしとをひらく)冬ごもいをしていた生き物が姿を現す頃

桃始笑(ももはじめてさく)桃の花が咲き始める頃。花が咲くことを「笑う」と表現しています。

菜虫化蝶(なむしちょうとなる)青虫が紋白蝶になる頃

春分(20日)…昼と夜の長さがほぼ同じになります。この日を境に陽が延びていきます。

雀始巢(すずめはじめてすくう)雀が巣を作り始める頃

桜始開(さくらはじめてひらく)桜の花が咲き始める頃

雷乃発声(かみないすなわちこえをはっす)春の訪れを告げる雷が鳴り始める頃

太陽の光が何となく力を増したように感じます。入園式の花であった桜が、卒園式の花になっています。今年は何日ごろが開花日となるのでしょうか。ピオトーフのめだかも、暖かい日には上に出てくるようになりました。春はすくそこです。

